

科目名	微生物学	時期	時間	単位	
担当教員	非常勤講師	1年次	前期	30時間	2単位
科目設定理由	微生物のなかには食物の腐敗や、健康と生命を脅かす感染症を引き起こすものがあるが、微生物は有機物を分解して地球の環境を美しく保つなど重要な役割を担っている。病原微生物にうまく対処するためには相手の正体を知り、それを迎え撃つ人間の身体の守りの仕組みを理解することが不可欠である。また、医療施設には感染源となる患者と、高齢者や基礎疾患をもつ感染しやすい別の患者が同一空間に存在し、医療従事者が媒介感染を起こさないための知識と技術、そして細心の注意と遵守が求められている。そこで、目に見えない病原微生物を「見える化」する能力を養うため当該科目を設定した。				
学習目標	1 微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解する 2 感染症を理解し、その予防と治療に必要な基礎知識を習得する 3 感染症の最新動向について説明できる				
授 業 計 画					
回数	項目	内容	備考		
1~2	微生物学の基礎と総論	1 現在の感染症動向 2 微生物の分類と構造・性質	講義		
3~4	感染と感染防御	1 院内感染・日和見感染 2 免疫応答 3 アレルギー 4 感染症の予防	講義		
5~6	おもな病原微生物（1）	1 グラム陽性細菌と感染症	講義		
7~8	おもな病原微生物（2）	1 グラム陰性細菌と感染症	講義		
9~10	おもな病原微生物（3）	1 マイコプラズマと感染症 2 リケッチアと感染症 3 クラミジアと感染症 4 その他病原細菌と感染症	講義		
11~12	おもな病原微生物（4）	1 病原真菌と真菌感染症 2 DNAウイルスと感染症	講義		
13~14	おもな病原微生物（5）	1 RNAウイルスと感染症	講義		
15	試験	1 筆記試験 2 試験の解説と復習			
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学	南嶋 洋一 他	医学書院		
参考図書・資料等					
評価方法	筆記試験				